

## 月例会ダイジェスト【48】

近年ようやく認知されるようになってきた「発達障害」や「LGBT（レズビアン・ゲイ・バイセクシュアル・トランスジェンダー）」の人々。職場や学校で居合わせる機会も少なくない中で、どう向き合っていくべきか戸惑うこともまだ多いのではないだろうか。今回のさんぽ会は「『障害』って何だろう？～障害を『価値』に変えるユニバーサルワーク」と題して、早稲田大学で発達障害の学生を支援する吉野智子氏と、社長を筆頭に障害のある人が多数活躍するユニバーサルデザイン（予め、障害の有無や年齢、性別、人種などに関係なく利用しやすい製品やサービス、環境をデザインする考え方）普及促進企業、株式会社ミライの堀川歩氏を講師に招いて開催された。コーディネーターは、高家望氏（東急不動産株式会社、株式会社東急スポーツオアシス）と小島健一氏（鳥飼総合法律事務所）。

前半では、まず吉野氏が学生との相談を通じて関わった事例を交え、発達障害について解説した。発達障害のある人を支援するためには「診断名はその手立てのヒントになりうるが、大事なのは周囲の人が本人を徹底的に理解すること」と述べ、個々に全く異なる、障害の要素や程度が混然としている対象者には、診断名のみで容易に画一的な対応ができない点を強調。「環境が適切に調整されれば、周りとの適応の問題は少なくなる」と指摘した。

発達障害のうち、学習障害（LD）は「うまく学ぶことができない」、注意欠陥多動性障害（ADHD）は脳の神経伝達物質が足りないために症状が出ることから「刺激の枯渇」、自閉症スペクトラム障害は自分と周囲との関係などが「つながらない」ことを特徴のキーワードとして挙げた。支援のポイントは、①「何に困っているのか」「何につまずいているのか」を具体的に確認する、②「なぜできないの？」ではなく「どうしてできたの？」とうまくいっていることを言語化して自己理解を深めてもらう、③やれることを示してもらって「自分の説明書」を作って自分自身で努力する部分を明確にする、などを具体的に例示した。

続いて、堀川氏が自らが心の性と体の性が不一致であるトランスジェンダーであることを明かし、思春期での心の葛藤やいじめを受けた経験などを告白。LGBTの人が職場でプライベートな質問を受け困ったり、出世に響いたり、仕事を続けたいのに離職に追い込まれたりする実情を語った。また、社会には障害者やLGBTなど目に見えない障害や違いを抱える人の前に立ちはだかる、建物や製品な

どのハード、人々の意識やサービスなどのソフト、そして情報の3つの大きな壁があるとして、それを解消するためにミライロが取り組んでいる事例を紹介した。その上で、「社会の中では障害者の法定雇用率が何%だからと単に法律に従う企業も多いが、『障害者雇用』という言葉自体がナンセンス。障害者は活躍している。もっとユニバーサルな雇用のあり方を皆が一緒につくっていくことが必要」と訴えた。さらに、「バリアフリーはそのまま読むと障害を取り除くという意味。障害はハンディキャップやマイナスではなく、強みであり、プラスであり、価値である。バリアフリーではなく、『バリアバリュー』の社会をつくっていききたい」と言葉に力を込めた。

後半は、質疑応答とディスカッションを行った。「障害のある人から困っていることを引き出すにはどうしたらいいか」との参加者からの質問には、堀川氏が、「『できますか?』という言葉は相手を圧迫する。『大丈夫ですか?』も相手が遠慮して『大丈夫です』と答えがちになる。『私に何ができますか?』とこちらでできることを尋ねることで相手は答えやすくなる」と応じた。このほか、「上司が発達障害の可能性のある時はどう対応したらいいか」との問いには、吉野氏が「発達障害の有無にかかわらず、いやな上司や同僚はいる。その人たちとどう関わっていくかということシンプルに考えればいい。困ったことがあれば上司に言うべき。これはたとえ診断がついていても同じ。皆で一緒にやっていく時に障害の有無は関係ない」と答えた。

「障害」と名のつく法律の中でも身体障害者福祉法ができたのは戦後間もない約70年前なのに対し、発達障害者を支えるための発達障害者支援法は施行後まだ10年ほどしか経っていない。また、LGBTについても、同性カップルに「結婚相当の関係」と認める証明書を発行する役所が出てきたのはごく最近の話だ。これら見えない、または見えにくい障害や違いを抱える人とも、社会福祉の根幹をなすノーマライゼーションの精神で接することができる時期がやっと訪れたと言ってもいい。「『障害』って何だろう?」。それは、もしあるとすれば、健常者といわれる人を含むすべての人の心の中に現れるものかもしれない。



吉野智子氏(左)  
堀川歩氏(右)

さんぽ会の詳細は下記サイトをご覧ください。  
 ● ホームページ <http://sanpokai.umin.jp/>  
 ● FB ページ <http://www.facebook.com/sanpokai>